



鳥取県内の経済情勢

令和8年4月22日

財務省中国財務局
鳥取財務事務所

お問い合わせ先

鳥取財務事務所 財務課長 高嶋

電話 0857-26-2295

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている」

項目	前回（8年1月判断）	今回（8年4月判断）	前回比較
総括判断	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	→

（注）8年4月判断は、前回8年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、回復に向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、一進一退の状況にある。雇用情勢は、弱含んでいる。

【各項目の判断】

項目	前回（8年1月判断）	今回（8年4月判断）	前回比較
----	------------	------------	------

個人消費	回復に向けたテンポが緩やかになっている	回復に向けたテンポが緩やかになっている	→
生産活動	足踏みの状況にある	一進一退の状況にある	→
雇用情勢	弱含んでいる	弱含んでいる	→

設備投資	7年度は前年度を上回る見込み	7年度は前年度を下回る見込み	↔
企業収益	7年度は減益見込み	7年度は減益見込み	→
住宅建設	前年を上回る	前年を上回る	→
公共事業	前年度を上回る	前年度を上回る	→

【先行き】

先行きについては、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「回復に向けたテンポが緩やかになっている」

百貨店販売は、冬物衣料品などが不調であることから、前年を下回っている。

スーパー販売は、精肉などが好調であることから前年を上回っているものの、節約志向により米などの買い控えがみられている。

コンビニエンスストア販売は、米飯などの売上金額が伸びていることから、前年を上回っている。

ドラッグストア販売は、新規出店効果などにより、前年を上回っている。

ホームセンター販売は、冬物寝具などが不調であることから、前年を下回っている。

家電大型専門店販売は、エアコンなどが好調であることから、前年を上回っている。

乗用車販売(新車登録・届出台数)は、普通乗用車が不調であることから、前年を下回っている。

主要観光地の入込客数は、積雪の発生と地震の影響による一時的な減少がみられたものの、観光需要の高まりが続いており、前年を上回っている。

(主なヒアリング結果)

- 積雪や地震といった一時的要因もあり来店客数が減少する中、12月の暖冬により冬物婦人服の動きが悪かったほか、年始以降も初売りやセールが振るわず、衣料品が不調。(百貨店)
- つみれ、調味済み肉などの加工された精肉が、手軽さなどの面で好評なことからよく売れている。一方、米は、供給が回復したにもかかわらず価格が高止まりしていることから、値下がりを待って買い控える動きがみられる。(スーパー)
- 今年は1月に積雪が多く、スキー客などのレジャー需要が高まったことから、おにぎりがよく売れた。物価高が続く中、材料の見直しにより価格を抑えた商品の販売数量が伸びている。(コンビニエンスストア)
- 新規出店の効果により売上を伸ばしているほか、競争の激しいエリアでは、お値打ちチラシの強化やポイント施策により来店促進を図っている。(ドラッグストア)
- 物価高が続く中、毛布、布団などの冬物寝具は、買い替えを我慢する動きがみられ不調。地震の影響により、防災リュックなど一部の防災用品は売れたものの、想定したほどの動きには至らなかった。(ホームセンター)
- エアコンは、若年層を中心に自動掃除機能付きなどの高単価な製品の人気が高まっており、気温の低下した1月を中心によく売れた。(家電大型専門店)
- 国内客は、積雪や地震といった一時的要因による減少があったものの、客室単価が上昇する中で目立った客離れはみられていない。インバウンドは、米子ーソウル国際定期便デイリー化等の効果により引き続き増加している。(宿泊)

■ 生産活動 「一進一退の状況にある」

食料品は、土産用菓子の需要が好調であることから、増加している。

電子部品・デバイスは、半導体製造装置向けの需要が伸長していることから、増加している。

パルプ・紙は、国内需要が低調であることから、減少している。

電気・情報通信機械は、ガソリン車向けなどの需要が持ち直していることから、増加している。

汎用・生産用・業務用機械は、半導体製造装置の需要が持ち直していることから、増加している。

- 中国政府による日本への渡航自粛に関する呼びかけの影響は感じられず、土産菓子需要は引き続き好調。物価高による節約志向が続く一方で、付加価値の高い高単価な商品の人気が高まっている。(食料品)
- AI需要の高まりの影響で、半導体製造装置向けの受注が増加している。(電子部品・デバイス)
- 他社競争などにより国内需要の減少が続いており、稼働率が低下している。中東情勢の影響により、薬品の調達に支障が生じる事態が懸念されるため、足下では薬品の使用量を抑制している。(パルプ・紙)
- EVの需要が減少している中、ガソリン車やHVの需要が相対的に増加しており、搭載部品の受注が増加している。(電気・情報通信機械)
- 半導体製造装置は、高単価な特殊仕様の受注が少しずつ増えており、稼働が改善している。(汎用・生産用・業務用機械)

■ 雇用情勢 「弱含んでいる」

人手不足の声が聞かれるものの、新規求人数は減少しているほか、有効求人倍率も低下していることから、雇用情勢は弱含んでいる。

- 県外への転職や高齢化に伴う退職者が発生した結果、設備投資による省人化や一部商品の製造を終了するといった事業縮小により対応することとなった。(食料品)
- 中途採用がある程度進み、従業員数は増加しているものの、システムエンジニアなどの技術職は、即戦力がなかなか見つからず不足感が続いている。(卸売)
- 人件費の増加を抑えるため、省人化により総従業員数を減らしていく必要がある。セルフレジの導入が完了したほか、足下ではAIによる発注事務の自動化も進めている。(小売)
- 小売業ではAIやロボットの活用も含めた省力化が進んでおり、パートタイム求人の減少が顕著。また、需要に応じて従業員数を柔軟に調整できるスポットワークへ切り替える動きも複数業種で広がっている。(職業紹介)

■ 設備投資 「7年度は前年度を下回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年1-3月期

- 製造業では、鉄鋼などで増加するものの、生産用機械、食料品などで減少することから、全体としては減少見込みとなっている。
- 非製造業では、サービスなどで減少するものの、運輸・郵便、金融・保険などで増加することから、全体としては増加見込みとなっている。

- 昨年度、補助金を活用して大きな設備投資を実施した反動減。(生産用機械)
- システム更改の案件が複数ある中、施工業者の人件費が上昇しており増加。(金融・保険)

■ 企業収益 「7年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年1-3月期

- 製造業では、食料品などで増益となるものの、パルプ・紙、情報通信機械などで減益となることから、全体としては減益見込みとなっている。
- 非製造業では、サービスなどで増益となるものの、建設、リースなどで減益となることから、全体としては減益見込みとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回る」

- 新設住宅着工戸数で見ると、貸家、分譲住宅が増加していることから、前年を上回っている。

■ 公共事業 「前年度を上回る」

- 前払金保証請負金額(年度累計)で見ると、前年度を上回っている。

鳥取県内の経済情勢

[資料編]

	(ページ)
1. 個人消費	1
2. 生産活動	3
3. 雇用情勢	4
4. 設備投資	5
5. 企業収益	5
6. 住宅建設	6
7. 公共事業	6

令和8年4月22日

財務省中国財務局
鳥取財務事務所

お問い合わせ先

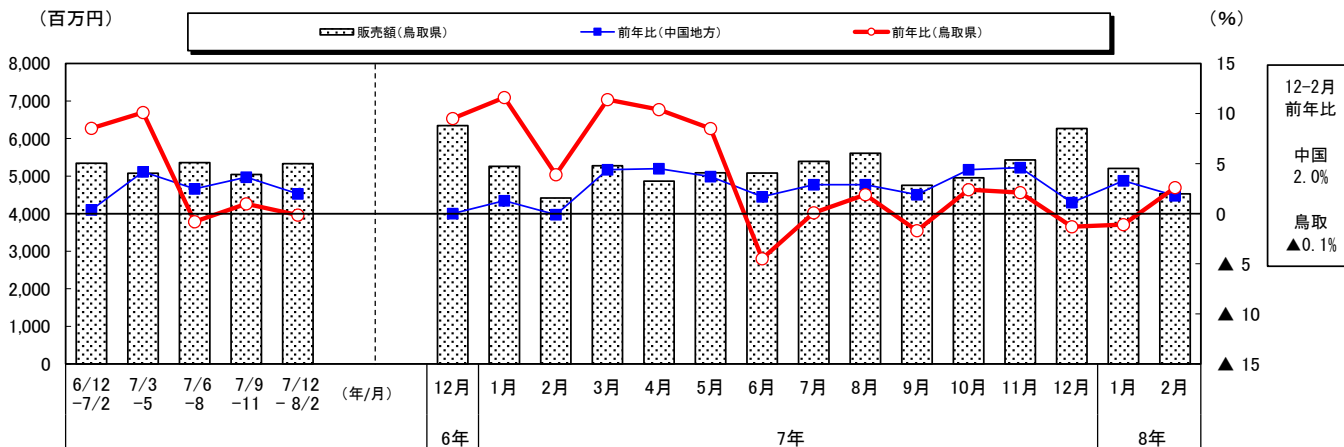
鳥取財務事務所 財務課長 高嶋

電話 0857-26-2295

1. 個人消費 回復に向けたテンポが緩やかになっている

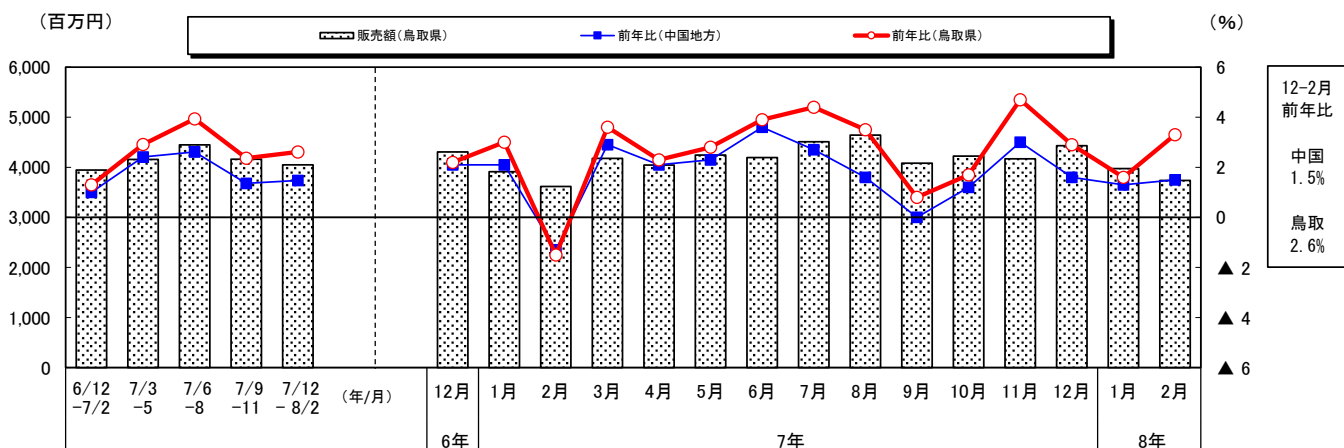
(注) (1)～(5)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均を表示

(1) 百貨店・スーパー販売(全店舗)



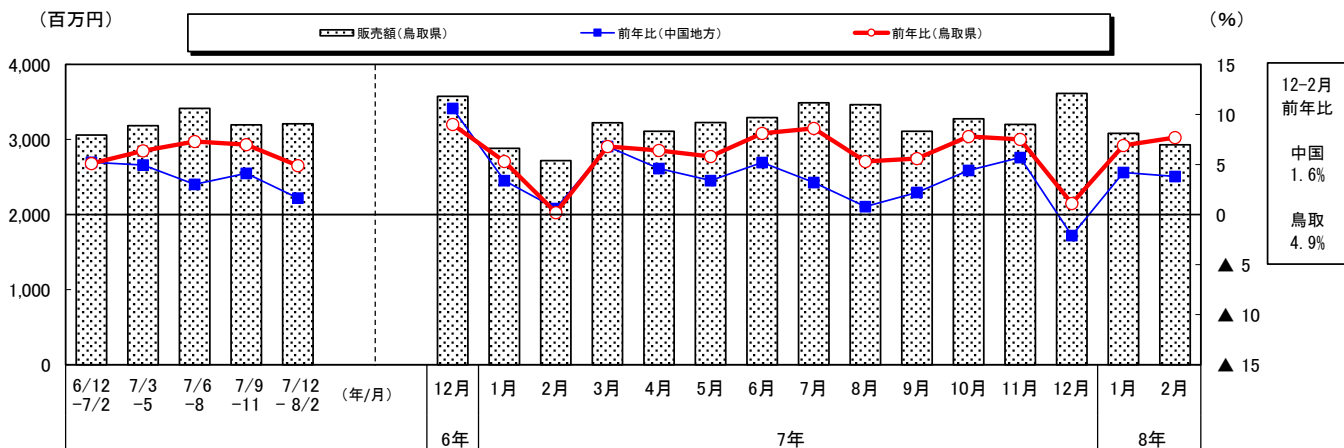
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(2) コンビニエンスストア販売(全店舗)



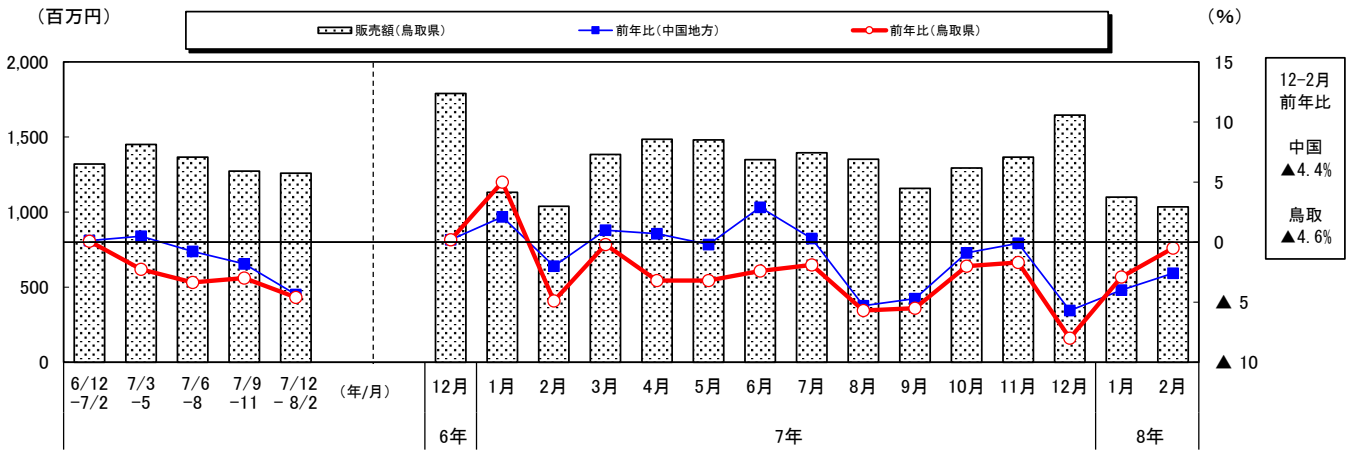
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(3) ドラッグストア販売(全店舗)



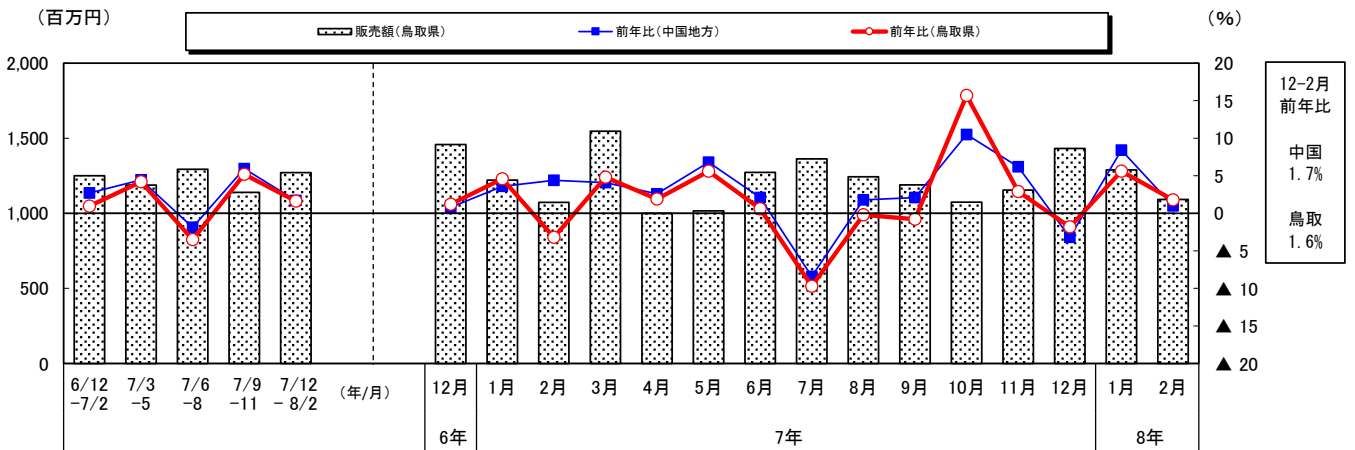
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(4) ホームセンター販売(全店舗)



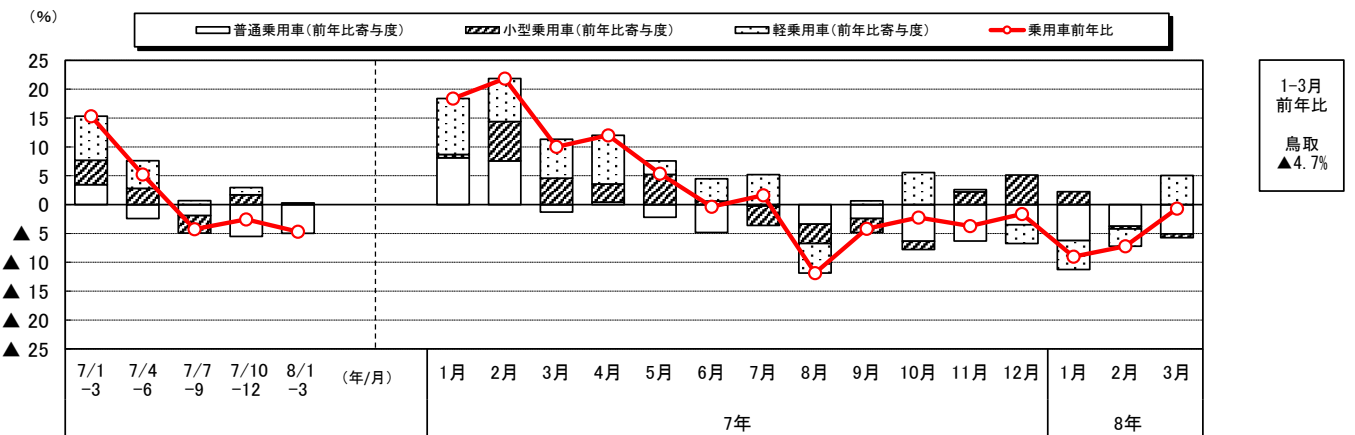
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(5) 家電大型専門店販売(全店舗)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

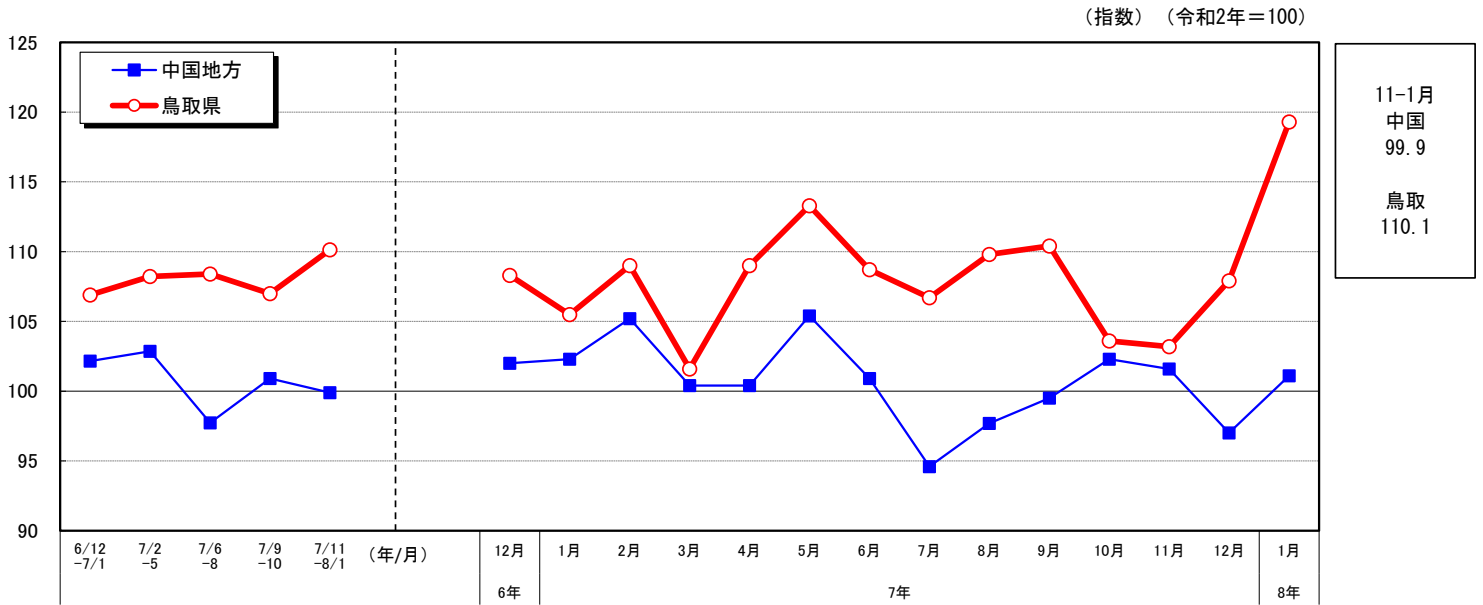
(6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)



(資料出所: 中国運輸局、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会)

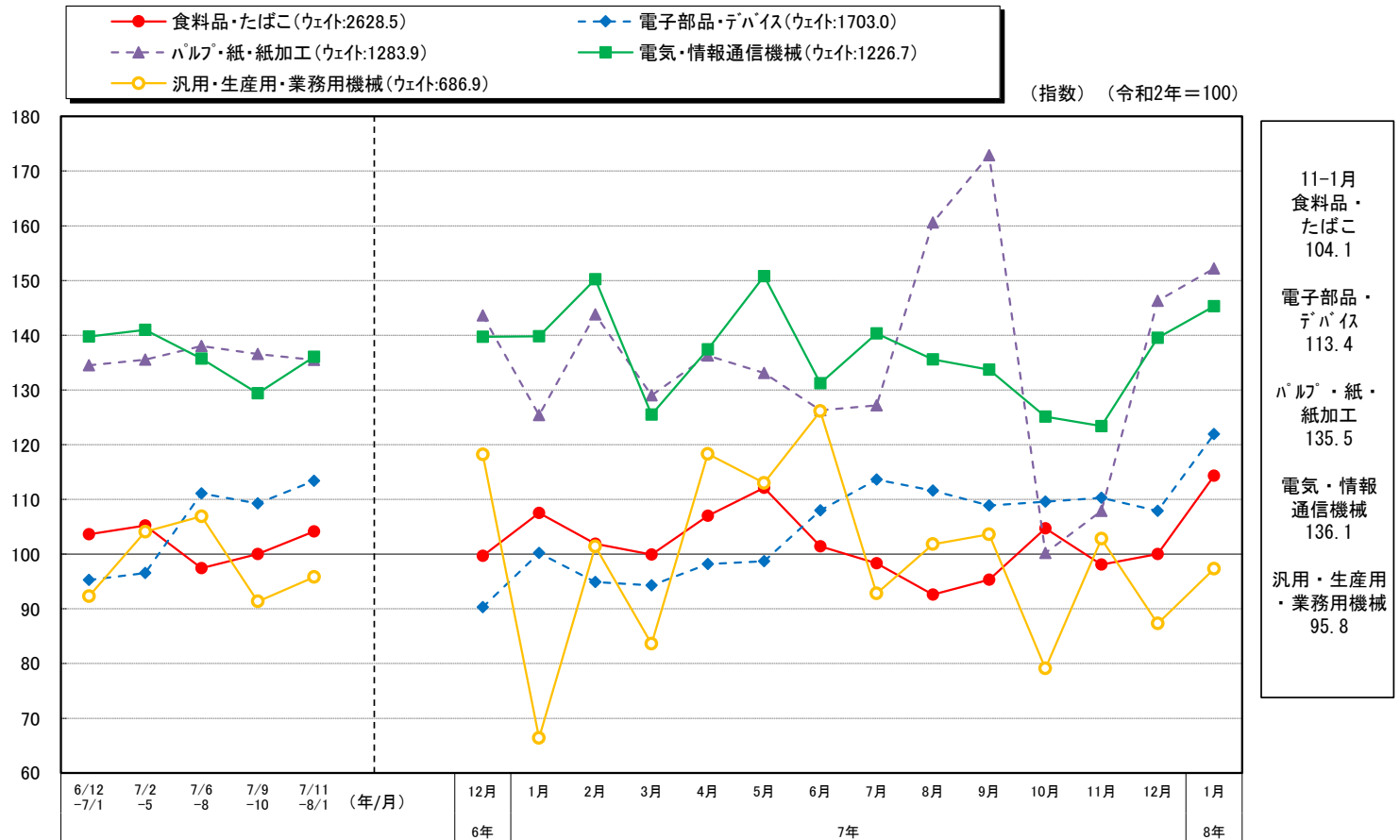
2. 生産活動 一進一退の状況にある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)



(資料出所: 中国経済産業局、鳥取県)

(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

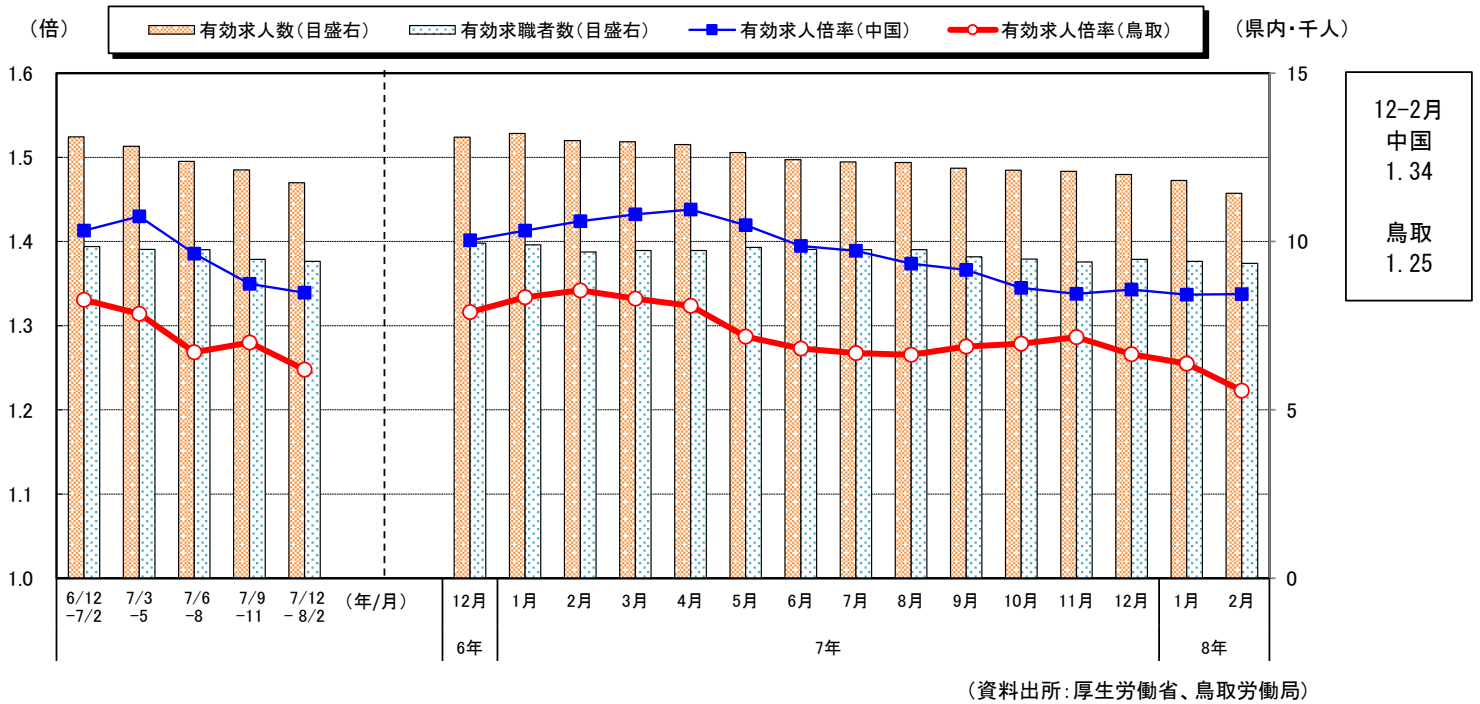


(資料出所: 鳥取県)

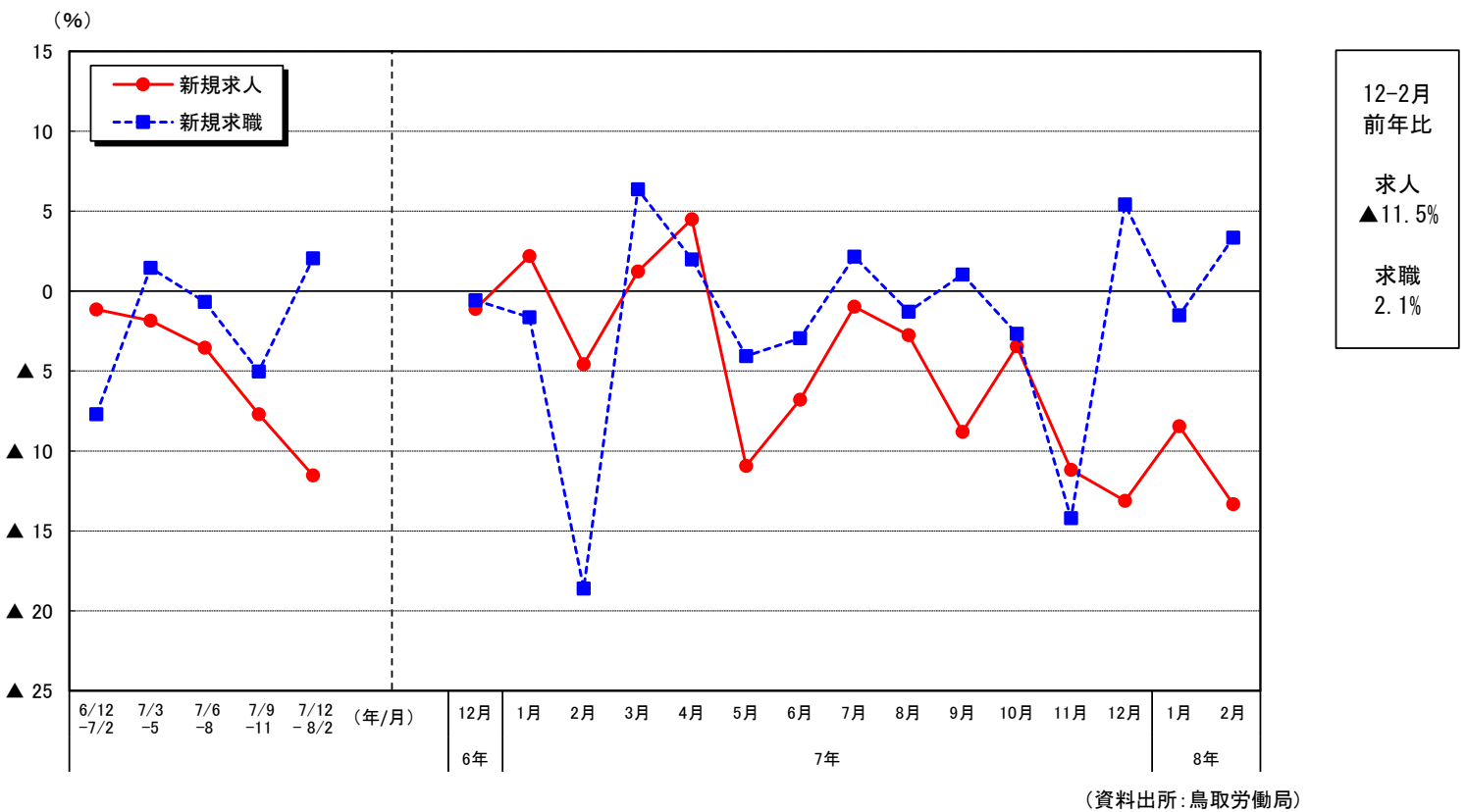
3. 雇用情勢 弱含んでいる

(注)(1)のグラフの3か月毎の有効求人数と有効求職者数は、1月あたりの平均を表示

(1) 有効求人倍率、有効求人・求職者数(学卒を除く、季節調整値)

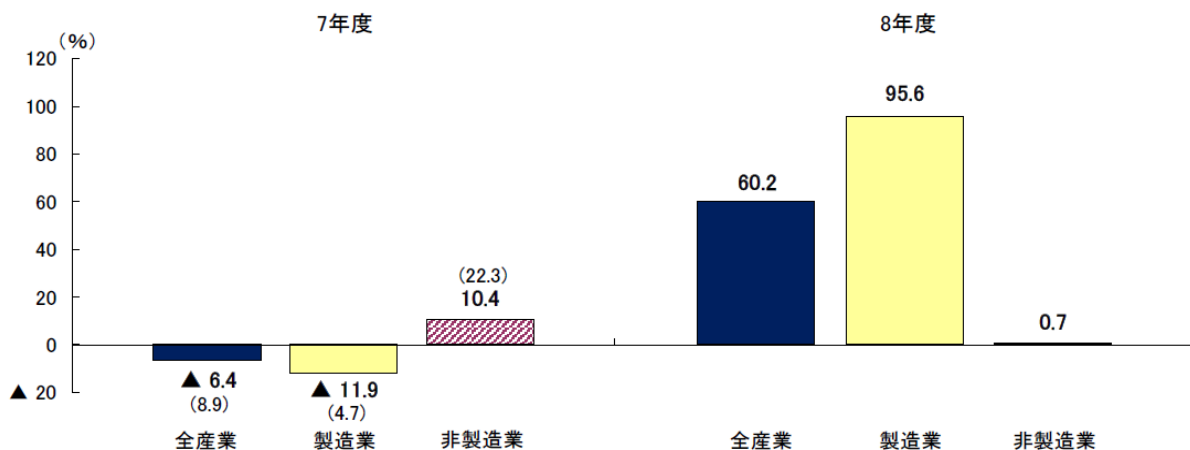


(2) 県内新規求人・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



4. 設備投資 7年度は前年度を下回る見込み

設備投資額(前年度比)

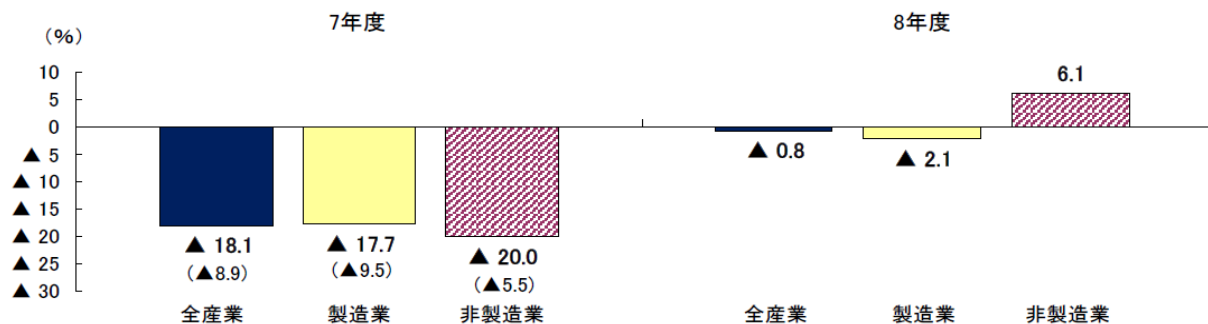


(注) 1. 調査実施時点は令和8年2月15日
 2. ソフトウェア含む、土地除く
 3. ()書きは前回(令和7年10~12月期)調査結果

(資料出所:鳥取財務事務所)

5. 企業収益 7年度は減益見込み

経常利益(前年度比)

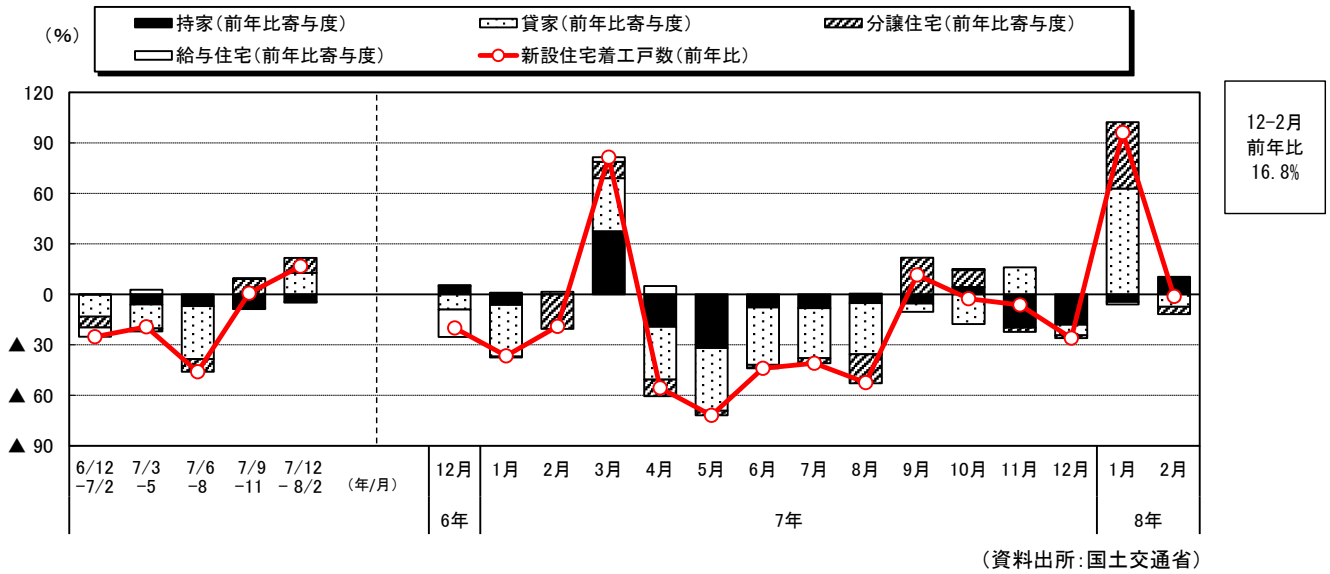


(注) 1. 調査実施時点は令和8年2月15日
 2. 電気・ガス・水道業及び金融業・保険業を除く
 3. ()書きは前回(令和7年10~12月期)調査結果

(資料出所:鳥取財務事務所)

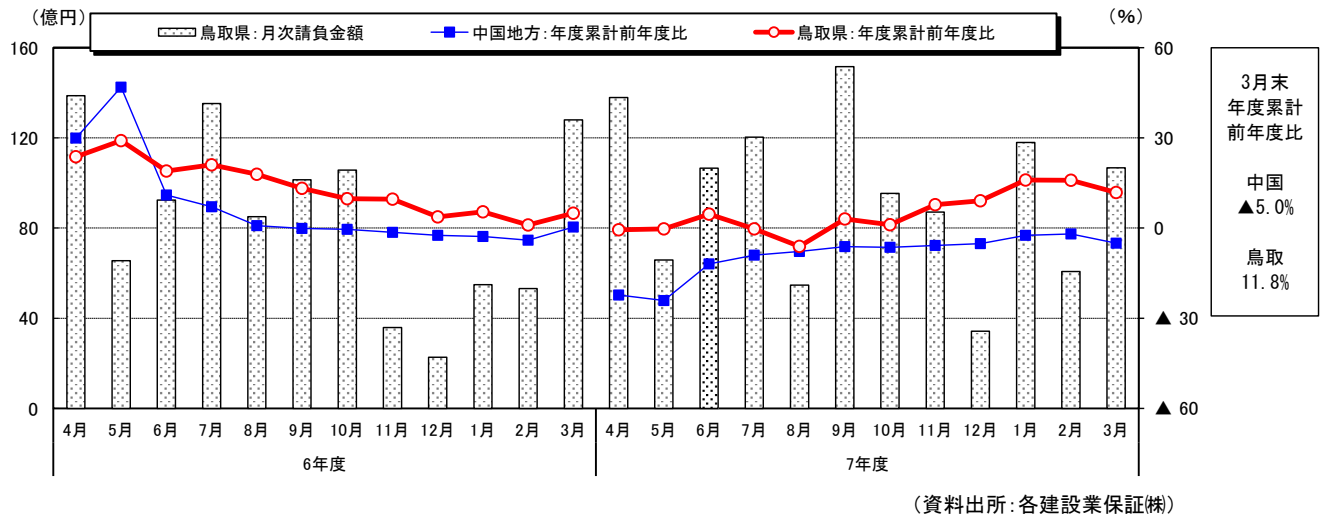
6. 住宅建設 前年を上回る

新設住宅着工戸数(前年比)



7. 公共事業 前年度を上回る

(1) 公共工事前払金保証請負金額(月次請負金額、年度累計前年度比)



(2) 公共工事前払金保証請負金額(月次請負金額前年比、発注者別寄与度)

